

ものづくり－産業を支える機械－特集号の発刊にあたって

取締役 常務執行役員

産業・環境・ロジスティックスセクター長
瓦 谷 立 身

IHI 技報「ものづくり－産業を支える機械－特集号」の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年の「3・11」とそれに端を発した福島原子力発電所事故が国内の電力供給やサプライチェーンに大きな影響を与えています。また、急激な円高が我が国の輸出競争力に大きなダメージを与えており、これらの結果として我が国の製造業のありかたまでを大きく揺さぶっています。今後、グローバル展開の加速など構造の変化が予想されますが、強いものづくり力を軸とした製造業が、引き続き我が国の産業の大きな柱であり続けることは確かであると思います。



IHI グループは創業以来、ものづくりの会社として、海・空・陸にいろいろな製品・サービスを提供し、また、お客さまのものづくり現場において中核的な役割を担う、数多くの産業機械・システムを納入してまいりました。「これからも、これまで以上に」、との思いを込めて、「ものづくり－産業を支える機械－特集号」を発刊いたしました。

巻頭では、IHI グループの看板製品である「ジェットエンジン」「船舶」「回転機械」のものづくりを支える技術・人を掲載しております。乗客の安全に必須のエンジン・オーバーホールを支える非破壊検査、大きく厚い鉄板を自在に曲げる線状加熱、大型回転機械の性能・品質を支える試運転技術など匠の技をご紹介します。

また、お客さまのものづくりの現場で活躍する産業機械の製品システムや技術を掲載しております。製紙工場の塗工工程で活躍する「DF コータ」、その省エネ性能が評価され「平成 23 年度優秀省エネルギー機器 資源エネルギー庁長官賞」を受賞しました。フィルム加工の「カレンダー」、製鉄所のシンボルとも称される「高炉」、クリーンなフラットパネル工場で活躍する「スタッカークレーン」を、少し変わり種では、安全安心を守る「高感度型無水防爆センサ」をご紹介します。

さらに、これからのものづくり革新に期待される IHI グループの技術開発の取組みを掲載しております。真空を使って物質の表面により高い機能を付加する「ドライコーティング」、光デバイス・パワーデバイスの性能アップに期待される次世代半導体「窒化ガリウム」の製造炉、ガス燃焼式ながらクリーンな加熱を実現する「マイクロコンバスタ技術」、産業機械の設計を革新する「3D CAD」などの記事です。

IHI グループは「技術をもって社会の発展に貢献する」ことを理念としています。さらに、お客さまのものづくりを支える産業機械分野においては、生産プロセスの全体または中核部分を担うシステム・機械をご提供すること、あるいは、生産プロセスがまだ確立していない産業分野や改善が必要とされる産業分野において、お客さまのものづくりのお役に立ちたいと考えています。この特集号でその一端を感じ取っていただければ幸いです。